

本取り組みは、東京都武蔵野市中町に位置する共同住宅です。「武蔵野の緑と四季を感じるすまいづくり」をデザインのコンセプトとし、地域の在来種を主体とした空間が維持されています。

評価された主なポイントは以下の通りです。

植物の自然な姿を大切にする植栽管理

武蔵野の景観を大切にするために、植栽は一律に整枝・剪定を行うのではなく、自然な樹形となるように維持管理されています。

都市部の緑を繋げる豊かな植生

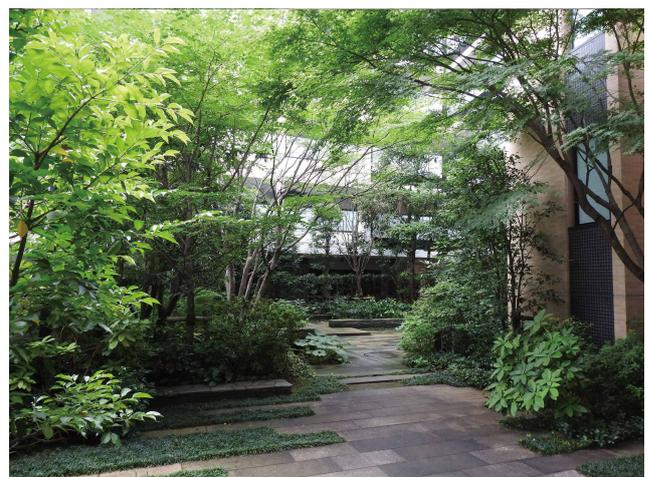
本物件は、地域本来の自然をお手本にした外構植栽を1ha規模でつくりあげたものであり、市街化が進んだ同盆地における生態系ネットワーク形成に向け、貴重な回復拠点となりうるものです。屋上に植栽が施された建物は、高さ20m程度に抑えられ、鳥類などの移動の障害となりにくい構造となっています。



評価対象事業の位置



地域の在来種を主体とした公開空地



季節の移ろいを身近に感じる中庭